

評価委員会委員からいただいた主な意見

点検・評価の客観性を確保する観点から、岸和田市教育委員会評価委員会各委員から点検・評価に関して以下のご意見をいただきました。

ご意見に対しますシートでの修正や考え方について、記載 **(網掛け)** しております。

○教育総務部 総務課他○

項目番号 10 教員の業務負担軽減（教員の業務負担軽減に向けた取組の推進）

◇ 部活動指導員の配置について、令和 2 年度より中学校 2 校に 1 名ずつとありますが、この他にも要望はあったのでしょうか。「7. 今後の課題・方向性」について、具体的に必要とされるクラブ名等を記載されてはどうでしょうか。

⇒（学校教育課回答）部活動指導員を中学校 2 校に 1 名ずつ配置いたしました。これ以外、ほとんどの種目に関して要望はありました。ただ、学校のニーズにあった指導員の確保や、予算措置の関係で配置が 2 校にとどまりました。

クラブ名等の記載につきましては、各学校のニーズに合った指導員を広範囲の種目で募集しておりますので、現段階ではクラブ名等を記載する予定はございません。今後、学校の状況も考えながら、募集の方法等、予算措置を含め検討してまいります。

《施策・事業に対する意見等》

- 部活動指導員の配置ですが、市内で 25 連盟のスポーツ連盟があり、以前に水泳教室、サッカー、健康体操、バドミントンなど市事業への講師派遣をしてまいりました。時間等が合えば、各スポーツ連盟にも声がけさせていただきご協力できたらと思います。
- 産業医との面接指導によって改善されている学校や教職員の方もいらっしゃると思いますが、もしその内容が複数の方々に当てはまる場合は、その項目についての対策や改善を考える必要があると思います。
- 授業の準備やクラスの児童・生徒に関すること以外の事務的な作業などが削減されれば、担任の先生方のご負担も減らすことができるのではないかと思います（例えば、事務処理担当職員の増員、データ処理など IT システムの導入など）。
- 現在は中学校 2 校に部活動指導員の配置が行われていますが、専門的な指導の充実と教員の働き方改革のためにも、さらに指導員の増員が必要と思われます。募集要項を公開しても応募がない場合は、専門的のある方やスポーツ協会などに依頼されてもいいかと思えます。

○教育総務部 学校適正配置推進課○

項目番号 9 学校園の適正規模・適正配置の推進（小・中学校の適正規模・適正配置の推進）

◇ 「4. 取組の成果（効果）目標」の「成果の指標」欄に、「実施計画（案）の地域説明会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和 3 年 4 月も再延期。」の文言を記載する必要はあるのか。

⇒参考に記載しましたが、その文言自体が指標ではないため、削除させていただきました。

≪施策・事業に対する意見等≫

- 実施計画（案）の地域説明会は、新型コロナウイルスの影響で延期になったが、その期間も動画での配信やお問い合わせフォームを作成するなど、臨機応変に対応されていて市民の皆様にも伝わったと思います。また、最近では SNS やオンラインなどを利用される方が多いので、今後も説明会のみに限らず引き続き動画配信などを取り入れることによって、地域説明会に行くことができない方も参加することができ、地域住民との合意形成も行きやすいとも考えられます。

○教育総務部 学校給食課○

項目番号 6 学校給食、食育の充実（学校給食運営の充実）

- ◇ 総括評価で『目標を下回る』となっています。事業目標として経費削減となっていますので、一定の経費削減ができているのであれば、『目標通り』という評価をしてもいいのではないのでしょうか。

⇒「調理及び洗浄業務等」の民間委託の目的は、効率的・効果的な運営による事業費の削減で直営の経費との比較では事業効果はありますので、「6. 評価」の総括評価を『目標を下回る』から『目標通り』へ修正いたしました。

- ◇ 「2. 事業の目的・概要欄」に、食育に関する記載（根拠法や内容）がないのでしょうか。

⇒「2. 事業の目的・概要」の概要欄は主に民間委託についての記載となっていますが、市として食育に関する取組も実施していますので、4つ目の◇で食育の取組内容を追加いたしました。

○教育総務部 学校管理課○

項目番号 8 安心・安全で快適な学校園（トイレ等施設改修による環境改善）

- ◇ 「7. 今後の課題・方向性」で『改善して継続』とされながら、「3. 事業費」を見ると今年度予算は0となっています。この事業としては終了ということであれば、異なる表現にはならないのでしょうか。

⇒トイレ洋式化整備事業は、目標としていた洋式化率 90%を達成したため、令和4年度予算は0です。今後も安心・安全で快適な学校園の整備を進めていきますが、トイレ洋式化整備事業としては終了です。「7. 今後の課題・方向性」について『改善して継続』から『終了』に変更しました。また、理由についても、今後の方針（老朽化対策を図ったうえで、防災機能の強化、バリアフリー化など教育環境向上のための整備を進める。）の記載に変更しました。

- ◇ トイレ洋式化整備事業は 90%完了したとありますが、具体的に数を出して欲しいです。幾つが洋式化され、幾つが和式トイレが残っているのでしょうか。

⇒「6. 評価」の◇大便器洋式化率の推移の表の最下段R3にかっこ書きで個数を追加しました。

○教育総務部 産業高校学務課○

項目番号 3 専門教育の充実（産業教育の充実）

- ◇ 成果の指標にある「新規連携大学」について、調査等を実施したとありますが、その後はどうなっていますか。

⇒令和4年4月に新たに1校と高大連携協力に関する協定書を締結しました。来年度の点検・評価シートに記載いたします。

○学校教育部 学校教育課○

項目番号 1 活用する力の育成（授業の改善・読書活動の充実）

- ◇ 今回約1,800万円の予算増がされている、新規事業のコグトレについて、成果指標や成果はあるでしょうか。

⇒コグトレに関しては昨年度9校園で取組を始めました。各校園で4回調査し数値結果も出ていますが、全校園ということではないため、今回は定性的な評価として、教員や幼児児童生徒のアンケートの自由記述部分を成果として記載しました。また記載はしていませんが、回数を重ねる中、数値に若干の伸びが見られるところもありました。

- ◇ 読書活動事業を行う上での学校司書の役割、活動内容がわかれば、嬉しいです。

⇒「5. 令和3年度取組内容」の欄の〈読書活動事業〉の学校司書のあとに学校司書の役割、活動内容として「図書館の書物の整理・選定、子どもたちの調べ学習の助言、新聞などの資料の提供等、司書教諭の補佐を行う職員」と追記いたしました。

《施策・事業に対する意見等》

- 評価をする際に対府比でされていますが、ここ5年、10年のスパンで言いますと、府の学力は上がっています。府と比較して横ばいということであれば、岸和田市の子どもさんも向上しておられるということは十分あると思えます。市民の方や学校現場の方へのメッセージにはその辺も含め、できている所はできていると丁寧な評価をお伝え下さい。

項目番号 5 生徒指導の充実（生徒指導体制・教育相談体制の充実）

- ◇ SC、SSWの省略を使用することは構いませんが、最初に記載される場所だけで良いので、SC（スクールカウンセラー）等の説明が必要ではないかと思います。また、警察OBは専門家のくくりなのでしょうか？生徒指導支援員（警察OB）、子ども支援員（教員OB、地域の方々）とした方が市民はわかりやすいのではないかと思います。ご検討をお願いします。

⇒「2. 事業の目的・概要」の欄の概要に各種専門家に専門家名を「SC：スクールカウンセラー、SSW：スクールソーシャルワーカー、SL：スクールリーダー」と追記いたしました。また、警察OBは専門家のくくりではなく支援員のくくりに入れ、各支援員にも各支援員名を「警察OB・教員OB・地域の方々等」と追記いたしました。

《施策・事業に対する意見等》

- 総括評価が「目標を下回る」となっていますが、いじめ認知度解消については国の方針としてなるべくたくさん見つける、たくさん見つけてたくさん解消していくという方向性だと思います。国平均の解消率が77%位だと思いますので、小中ともに2年連続80%超えの解消率と言うのは、たくさん見つけてたくさん解消しているという非常にいい数値で

す。ただこれで「目標通り」と書きにくいということは重々分かりますが、そこは丁寧なご説明をさせていただいて、決していじめがひどくなっているわけではないというメッセージがあってもいいのではないかと思います。不登校について国は学校復帰が目的ではないとしています。丁寧に様々な機関や専門家によって支援するという方向性ですので、どうしても定量的な評価となるとこうなってしまうのですが、より丁寧な情報発信をお願いします。

- 不登校の児童や生徒は、学校に行きにくい原因があると思います(学校での事情、家庭の事情など)のでその原因を把握して改善することが大切であり、登校することを目標とするだけでなく、学校内外で安心して過ごせる居場所づくりや心理ケアなどサポート方法が重要と考えます。
- いじめや暴力行為、問題行動などの発見について、生徒指導の先生はどのように伝えているのでしょうか。もし、クラスメイトがいじめの現場を目撃した場合、そのことを報告するか否かは指導方針にも影響していると感じます。例えば、加害者に「〇〇さんから聞いたんだけど」と投げかけた場合、クラスメイトも被害者になる場合もあり、(名前を出されるなら報告しないでおこう)と考える生徒も多いと思います。問題解決だけでなく、同時に発見した生徒や教師の人間関係にも配慮しながら解決に向かう必要があると考えます。指導方針によって表沙汰になっていない問題も発見し改善に向かえる可能性が高まると考えます。

項目番号7 体力の向上（体力向上の取組の推進）

- ◇ 水練学校の未実施、全国体力・運動能力、運送習慣等調査の結果の向上は中学校のみ、スキップロープチャレンジの中学校の参加の減少という状況で、『目標を上回る』という総括評価になるのでしょうか。

⇒「6. 評価」の欄の総括評価を、水練学校の未実施、全国体力・運動能力、運送習慣等調査の結果の改善傾向、コロナ禍でのスキップロープチャレンジの参加状況等、総合的に判断し直し、『目標通り』に変更いたしました。

○学校教育部 人権教育課○

項目番号2 特別支援教育の充実（「あゆみファイル」の活用）

- ◇ ファイル作成数 2,026 人分、相談件数 266 件、相談及び訪問支援 349 件とありますが、記載内容だけでは、例えば目標値があってその目標どおりであったのかなどが分かりません。増減で良し悪しがある数値であれば、経年変化を「6. 評価」に記載いただければ明確にわかるかと思えます。
- ◇ 「5. 令和3年度の取組内容」で、あゆみファイル 2,026 人分を作成したとありますが、前年度より 170 人分増である旨も加えてはと思います。支援の必要な子どもが増加していることを分かってもらえるのではないのでしょうか。そのために必要な教育、支援体制、周囲サポートなど、人や予算が必要な現状が伝わるように思います。

⇒あゆみファイルや支援相談は、学校と保護者が相談しつつ、必要に応じて随時対応していくものであるため、目標値の設定については馴染みにくいと考えております。あゆみファイル作成数や支援相談の件数について、参考となるよう、「5. 令和3年度の取組内容」

に令和2年度の数値を追記いたしました。

項目番号 4 人権教育の充実（研修・啓発の充実）

- ◇ ヤングケアラーについて、周りが周知しているけれど本人が認知できていなかったりというケースがあると聞きます。本人に知らせてあげるといった目的で子どもさん向けのリーフレットの作成等で本人や周囲のお友達が情報収集できるような方策をお願いできればと思います。

⇒ヤングケアラーの早期発見と支援につなげるため、まずは教職員への啓発を進めてきたところです。今後、ヤングケアラーの概念や相談先等について、子どもたちや保護者への周知を行う予定をしており、「7. 今後の課題・方向性」に、その旨追記いたしました。

○生涯学習部 生涯学習課○

項目番号 11 生涯学習推進体制の整備（生涯学習基本方針の推進）

- ◇ インクルーシブ・コミュニティという文言が、市民の方に分かりにくいかもしれません。可能であれば注釈などつけていただければ分かりやすくなるかと思えます。
- ◇ インクルーシブ・コミュニティづくりやフラッグシップ事業などの言葉を用いるのであれば、わかりやすく説明がいたるのではないのでしょうか。

⇒「2. 事業の概要」欄のところで、3点それぞれ文言に対しての注釈を記載いたしました。

項目番号 12 学習機会の拡充（学び舎プログラムの実施）

- ◇ 「5. 令和3年度 of 取組内容」で参加者数の記載がありますが、予想通りの参加者数であったのか少なかったのか、わかれば記載されてはどうでしょうか。

⇒「5. 令和3年度 of 取組内容」欄で、各講座の参加者数の後に、募集定員を記載しました。また、「6. 評価」欄の1行目に「参加者数が少なく」と追記しました。

緊急事態宣言中やまん延防止等重点措置期間での開催の講座につきましては、やはりコロナの影響が大きかったと考えます。市立公民館で実施した学び舎ネットワークの「人気YouTuberがやってくる」は11月の開催でコロナの状況は落ち着いていた時期での実施でしたが、申込自体は50名を切るぐらいの数があったらしいのですが、親御さんと子どもの申込が多く、1組のキャンセルがあると4名のキャンセルとなるといったことで、結果的に参加者が少なくなっております。

≪施策・事業に対する意見等≫

- コロナ禍でしたが、色々な視点で色々な取り組み方で事業をされていると思います。またリモートなども上手に使われ、遠方で普段呼べない講師の方を招聘するなど公民館に今までなかった形も取り組まれています。引き続き頑張っていただきたいと思えます。

学び舎ゼミは課題を探すだけでも大変だと思いますし、企画してもコロナ禍という理由だけでなく、連続講座に興味を持ち参加いただける方は多くはないかと思えます。これからも頑張っていただきたいと思えます。

○生涯学習部 スポーツ振興課○

項目番号 15 スポーツに親しむ環境づくり（各種スポーツ教室等の開設）

≪施策・事業に対する意見等≫

- 岸和田は、昔から水泳や縄跳びを熱心に取り組まれていると思いますので、継続して続けていただきたいと思います。また、折角、大阪体育大学との連携を進められるということですので、子ども達の体力強化やスポーツの親しみにつながるまでは分かりませんが、例えば運動の苦手な子への夏休みのマット運動や鉄棒講座などを取り入れるなど、大学との連携で専門的な視点を取り入れて企画をしていただければと思います。スポーツへ親しみを持ってもらうことがひいては健康につながり、医療費の削減にまでつながる可能性もあると思います。

項目番号 16 スポーツに親しむ環境づくり

（社会体育施設の適切な管理運営と計画的な施設整備）

- ◇ 目標にされている項目と成果の指標が全く違う内容になっているように思います。本事業は整備を行う内容ということで整備が進めばよしという事かと思いますが、成果の指標として施設の利用者数など記載されています。参考資料としていただくのは構わないですが、工夫をお願いします。

⇒成果指標を、各施設の補修等の実績、そして各施設の利用者数を補助指標と、修正いたしました。

○生涯学習部 郷土文化課○

項目番号 17 文化財の保護と郷土資料の活用（市内文化財を活用した普及行事の開催）

- ◇ 八木市民センターでの出前展示と出前講座をされた内容についても、参加人数等記載があれば有難いです。

⇒「5. 令和3年度 of 取組内容」の「八木市民センターでの出前展示と出前講座」の2行目出前講座の欄に、参加人数 40 人を追記しました。

≪施策・事業に対する意見等≫

- コロナ禍で本当に頑張っていたと思います。
- 企画展や出前授業は身近なテーマで親しみやすいし、文化財への興味・関心を持ってもらう大変良い機会だと思います。もしアンケートを実施している場合、その評価や意見などをまとめたものがあれば、企画や文化財そのものに対する傾向がわかりやすく、今後の企画をする指針にもなると思います。

項目番号 18 身近な自然の保護と啓発（屋内外における多彩な行事の開催）

- ◇ 意見なし

○生涯学習部 図書館○

項目番号 13 読書に親しむ環境づくり（子ども読書活動の推進）

- ◇ 中高生向けの情報発信を行ったとして「YA 通信」を発行したとありますが、何回ぐらい

発行されたのでしょうか。回数の記載があるとより理解しやすいかと思います。

⇒「YA 通信」の発行回数について、年 2 回と追記しました。

項目番号 14 読書に親しむ環境づくり

(資料の収集・整理・保存、及び郷土資料の整理・データ化の推進)

- ◇ 成果指標を利用登録者数とされていますが、総括評価の利用者に関する記述は来館者数に関する記述でしょうか。開館時間も増やし職員も頑張っておられると思いますので、より成果のわかるような確認をしていただければと思います。

⇒成果指標については利用登録者数としております。これは、貸出数や来館者数など、他の統計指標が「のべ数」になるのに対し、利用登録者数は実人数になるため、どれだけ多くの方に図書館を利用いただくことができたのかを表す指標として、最も適していると考えたものでございます。

- ◇ 5. 令和 3 年度の取組内容で祝休日に 5 分館を原則開館日と記載がありますが、できればどこの館であるのか 5 つとも明記してはどうでしょうか。

⇒祝日に開館しております 5 分館について、その名称を追記いたしました。

- ◇ 今後、実施されている様々な取組によって、市民の利用が増えることも期待できると思われるので、利用カードに限らず、人数や年齢、冊数などの括りで統計を出してみると、また新たな傾向が見られ、今後の方向性も明確になってくるのではないかと考えます。

⇒利用登録数や貸出冊数などの統計については、年齢や性別ごとの統計も作成した「図書館概要」を毎年とりまとめ、公表しております。

- ◇ 開館時間が従前の 18 時から 20 時までに延長してくださったのは、利用者にとって大変嬉しい取組と思います。なかよし号は、子どもたちも楽しみにしているので引き続き実施していただきたいです。また、デジタルライブラリーは現代に沿った取組で、市民が郷土資料に触れられる機会になると思います。

⇒自動車文庫（なかよし号）につきましては、利用状況に鑑み、令和 4 年度より地域のステーションは廃止し、そのマンパワーを学校への本の配送の充実に振り向けたところです。また、これまで地域のステーションをご利用いただいていた方のうち、ご高齢の方や身体に障害がある方など、図書館への来館が困難な方には、直接ご自宅に本をお届けする配送サービスを実施しているところです。今後も、利用数などの動向を見ながら、より効率的な自動車文庫の運営を図ります。

《施策・事業に対する意見等》

- 図書館利用時間の延長はとても有難い話であり、感謝いたします。